

# 針の木谷～五色ヶ原山行

その (2)

2015/9/21～25 単独行

槍ヶ岳が見えるテント場



テント場からの槍ヶ岳



船窪乗越付近の紅葉



船窪乗越



3日目～朝食済ませてテント撤収して私の不要になったマット・寝袋・釣り具等にコーヒー等の「ネタ無し」で不要になってしまった「ガス・コッヘル」等をAさんに持って行ってもらう事にして解散する。Aさんは車を置いて来た七倉へ下山、私は又針の木谷へ下って平の小屋（泊）へ向かう。今日も快晴で針ノ木岳～北葛岳等の展望が素晴らしい。急坂を下り分岐に下り、隠しておいた沢靴等で支度して谷を平の小屋に向けて下る。途中までは昨日歩いているので勝手知ったる道。今日も登ってくる人6組ほどとすれ違う。何故か下りに使う人が少ない。南沢出合い～木橋までの区間イワナが気になるが何しろ釣り道具を今日は持参していない。残念だ！失敗した！と大反省するが後の祭りだ。橋の先ですれ違った人に聞くともう渡渉は無いと言うので登山靴に履き替える。戸の無い避難小屋を過ぎて予定よりかなり早く渡船場に着く。ただ読売新道を下って来た時はコンクリートの階段状のシッカリした場所だった筈だがここは足場の悪い木製の梯子だ。

南沢出合手前の渡渉点



船着場入り口



渡し船、平の小屋側です



下船地で



時間つぶしに昼食を食べる。船が見えたがスピードが遅い。そのうちにスピードを上げて来た。予想通りニジマスのトロリング釣りをやって1匹釣って来たとの事。平の小屋に早く着く。

#### ←平の小屋



奥さんがヌクイ谷へイワナ釣りに行くように薦めてくれたが何しろ「釣り道具」が無い。大失敗だ！。泊り客は4名のみ。1部屋貸切。立山町の職員2名が国勢調査で来ていた。遠路大変だ、お疲れ様です。ここ的小屋は大半はイワナ・ニジマス釣り客でオーナーは「テンカラ釣りの名人」で有名な人だ。夕食後ユックリ「イワナ談義」を聞く。大変参考になった。やはり我々が2日間釣った区間はイワナが居な

いエリアだったとの事。食堂には望遠鏡が設置されていて、対岸の渡し船乗り場がセットされている。乗客がいるか確認するアイデアだ。(こちらにも対岸にも乗客がない時には欠航するとの事、合理的だ)

4日目～ヌクイ谷(イワナの宝庫)を眺めながら五色ヶ原へ登る。釣り道具があれば今日は4:30のコースタイムなので11:00頃まではイワナ釣りのできたのにとまたまた残念がる。ブナ林の中の急坂が続く。キノコが多い登山道だ。



#### ←くりたけを収穫する

くりたけが群生していたので小屋にあげようと思って採る。高度を上げると展望も開けてくる。紅葉も綺麗だ。久しぶりの単独行で自由気ままで展望を楽しんだり、写真を撮ったり、クロマメノキ(浅間ブドー)を採って食べたりしながら登る。道は踏まれていてしっかりしている。刈安峠を越えると槍ヶ岳も顔を出してくる。烏帽子岳～赤牛岳、昨日泊まった船窪、針ノ木岳～北葛岳、鹿島槍～五竜岳

～唐松岳、立山三山～明日越えなくてはならない獅子岳も大きく見える、高度差もあり大変な登りになりそうだ。高度を上げると薬師岳も見えて来た。

#### 歴史の古道の刈安峠



#### 刈安峠上の紅葉、針の木岳



雨がパラットきた。先を急ぐ。五色ヶ原の木道に出る。今日泊まる小屋も見える。前回室堂～薬師岳～折立と歩いた時も秋だったが高山植物の最盛期はさぞかし素晴らしい花園なのだろう。山々の展望が素晴らしい。予定よりかなり早く五色ヶ原山荘に着く。とうとう誰にも合わなかった。明日の天気が心配で時間も早いのでこのまま先に進み一の越山荘に泊まるか悩む。

黒部湖、その上北葛岳、その右尾根を下って来た、  
その右が船窪地形、右端が烏帽子岳



気持ちの良い登山道、  
誰にも会いませんでした



明日登る獅子岳はザラ峠から標高差 400M。右上は立山



五色ヶ原、山荘も見えてる



右から獅子岳、立山、浄土山



雨の中を歩くのは嫌いなので。ここ3日間  
携帯がずっと圏外で天気予報が入手でき  
ない。この先アップダウンが続くので体力  
的な面も気になる。小屋番に聞くと「今日  
と同じような天気」と言うので泊まる事に  
する。それにしても我が山人生でも一番早  
い小屋入りだと思う。小屋で早々一杯やっ  
ていると霧雨が降り出した。14:00 過ぎ  
には小雨となり、夕方には雨となった。こ  
の小屋は大きくてで 25 部屋ほどあり、

泊り客は10人ほどで一部屋ずつ貸切となった。連休が終われば嘘のようにすきずきするのだ。私の部屋は窓が2つあり部屋からは鹿島槍や獅子岳等が眺められる最高の部屋だった。今日は誰にも合わない登山道だった。早く寝る。

5日目～早く目が覚める。雨が降っている。失敗した、昨日先へ進めば（一の越山荘泊、調子が良ければ室堂まで頑張って帰宅できた）良かったと反省もするが後の祭り。朝食後雨の状況を見ながら思案する。今は小雨だが、だんだん天気は快方に向かうようなので、でもあてにならないので下山する事にする。早くみくりが池温泉に入ってサッパリしたいし。歴史のザラ峠着。見下ろすと温泉の湯けむりが上がっている。かすかな踏み後もある。此処からは標高差400Mの獅子岳への登りになる。途中で単独2組に抜かれるが気にしない。マイペースで黙々と登る。以降アップダウンがあるがほとんど休まず歩く。



#### ←雄の雷鳥

雷鳥にも時々出会う。かなりハイペースで富山大学立山研究所のある分岐に到着する。室堂からの観光客・ハイカーもいる。浄土山経由の方がコースタイムが短いが前回歩いているので私の趣旨から歩いている一の越山荘経由で下山する。途中で雷鳥に3回出会う。数の多いエリアだ。一の越山荘付近は紅葉が始まっていて見事だった。

小雨だが観光客や登山客が散在していた。みくりが池温泉で入浴・昼食で大休止。此処は日本一標高の高い温泉だ。独り占めの浴室で5日ぶりの入浴でサッパリする。入浴料700円だが割高感は無。髭剃り用の鏡が無いし、ドライヤーも置いて無いのが残念だ。食堂でビールを飲んで食事する。「みくり井」を注文する。げんげのから揚げと白海老のかき揚げが微妙に美味しかった。(1020円)



#### ←みくり井

雨も上がりそうにないので室堂ターミナルへ向かう事にする。玄関口で昨日五色ヶ原山荘で見かけた単独行の若い美人に出会う。何と私は松川村（北安曇郡）で彼女は松川町（下伊那郡）との事だがこの人とは以前どこかで見かけた気がする。

時間があるので何時も素通りの室堂自然保護センターに寄ってみる。ところが暖房が利きすぎて室温が高く暑いので早々と退散する。

経費節約の観念の無いお役所仕事だ。中国人観光客が異常に多い黒部立山アルペンルートを乗り継ぎ扇沢に。あれほど混んだ駐車場も私の車が1台のみで落ち葉が沢山乗っていた。

(臨時駐車場なので)無事今回も帰宅できた。考え深い山行になった。次期山行で「北アルプス全一般登山道踏破」の目標が達成できる。

#「針の木古道」は昔(明治時代)日本最初の有料道路として切り開かれた歴史ある道だと大町山岳博物館で知った。その時の通行証等が展示されていた。越中と信州の最短道路として開通、ザラ峠～刈安峠～針ノ木峠を越えての難路ですぐに廃道となってしまったようだ。途中に財宝が眠っている等のロマンもある。その古道復活に向けて船窪小屋の松沢さんやそのファンクラブ?(失礼)が古道復活に努力してきた。その成果で整備されていて全く迷うことも無く歩けました。ヤマケイでも掲載されて歩く人も増えているようです。

今回も2日間で10組ほど擦れ違いましたが何故か針ノ木峠に向かう人がほとんどでした。足元を見てもほとんど登山靴でした。沢靴を履きましたが、増水期以外は渡渉の際に渡る石を上手に選べば靴を濡らさないで済むと思いました。水量が安定する紅葉期がベストではと思います。平の渡し場はやはり登山道の崩落で乗り場が変わっていました。船に乗っていたら昔のコンクリートの乗り場が見えました。

赤沼健治